

11 月 4 日 : 売り圧力が高まり今週も下落か

多くのアナリストは、今週も売り圧力が高まる中での下落を予想している。投資家心理は金利、為替、債券市場の動きによって左右されるだろう。

VN 指数は 2.22% 安の 997.15 ポイントで金曜日の取引を終えた。

先週合計では 2.94% 安となった。

ベトナム銀行証券は、ECB と FRB の利上げについて言及した。

この利上げが、ベトナム国家銀行が今後も利上げを続ける可能性を高めたと同社は予想する。

これはベトナムに限った話では無く、多くの新興国で同じ動きが見られる。急速な金利の上昇が株式市場からの資金流出に繋がっていると同社は述べた。

サイゴンハノイ証券 (SHS) はベトナム株は、コロナ騒動初期と同様の売り圧力を受けている。金利、為替、債券市場などの要因がベトナム株式市場の底入れを確認することを難しくさせているとコメントした。

バオベトナム証券は、今後も下落を予想。投資家に利益を確定し株式への投資比率を減らすよう勧めた。VN 指数が 978-988 ポイント、930-950 ポイントまで下落した時に買いを検討すべきだと述べた。

VN 指数は 980 ポイントあたりの下値を試す動きとなるだろう。そこでキャッシュフローの流入が確認出来れば反発が期待できる。投資家は相場の状態を確かめるために資金流入の状況を慎重に観察する必要があると同社は予想した。

建設資材セクターが最も下落した。下げを牽引したのは鉄鋼セクターで、ナムキムグループ (NKG) が 17.5% 安、ホアファットグループ (HPG) が 12.8% 安、ホアセングループ (HSG) が 9.4% 安となった。化学セクターも下落。ベトナムカムウ肥料 (DCM)、ドックザンケミカル (DGC) などが大きく下落した。

小売り、不動産株も大きく下落した。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。